

自転車死者の致命傷は 頭部が約 7 割 ヘルメット非着用で 致死率 1.7 倍

自転車に乗るときは大人も子供も ヘルメットをかぶりましょう!

自転車事故の際、車体や路面等に頭部をぶつけて、死に至るケースが少なくありません。

ヘルメットを着用していなかった方の致死率は、着用していた方に比べて1.7倍も高くなっています。被害軽減には頭部を守ることがとても重要です。

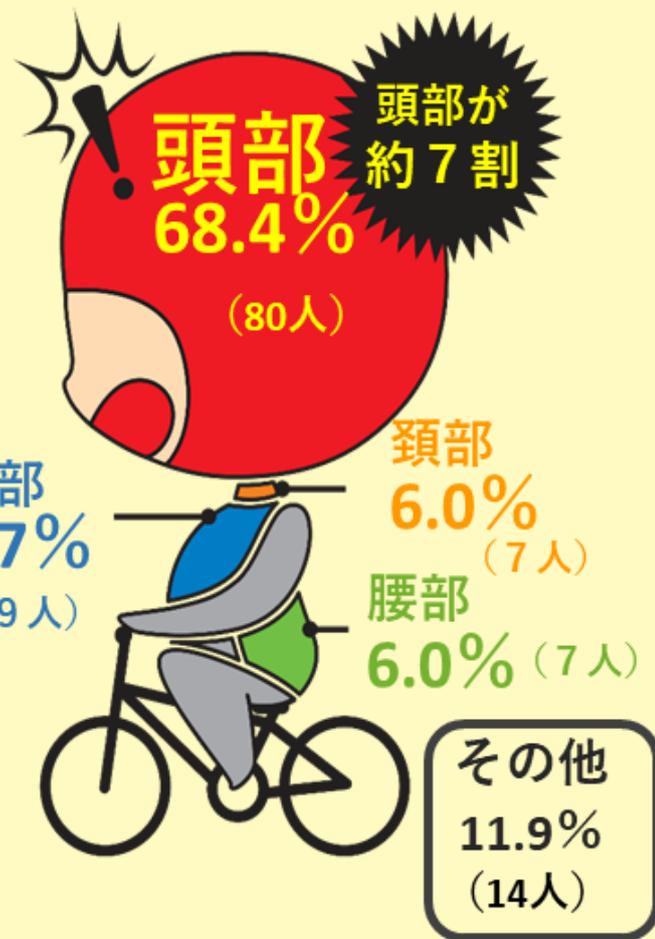
ヘルメットを正しく着用して、死亡リスクを減らしましょう。

自転車に乗るときに ヘルメットを着用していれば 助かる命が数多くあります!

ヘルメット着用時と非着用時の致死率の比較



愛知県内自転車死者の
負傷主部位構成率
(平成31年～令和5年 死者総数117人)



自転車事故で高額賠償も!

自転車の交通事故の損害賠償金が高額になるケースがあります。

万が一に備え、**自転車保険へ加入**しましょう。



事故の概要	賠償額
(平成15年9月) 男性がペットボトル片手に、スピードを落とさず、下り坂を走行し交差点に進入。横断歩道を横断中だった女性(38歳)と衝突した。歩行者の女性は脳挫傷で3日後に亡くなった。	約 6,700 万円
(平成25年7月) 小学5年生の男子が、夜間、自転車で坂を下り歩道と車道の区別のない道路において、歩行中の女性(62歳)に正面衝突した。歩行者の女性は頭蓋骨骨折等の傷害を負い、意識不明の寝たきり状態となった。	約 9,500 万円